

# プログラミングコンテスト

## プログラミングコンテスト(プロコン)とは

自由部門、課題部門、競技部門の3部門に分かれて与えられた課題を解決するプログラムを作成します。研究者や企業の方々が作成したプログラムについて評価し、特別賞や企業賞を与えます。問題解決、プログラム開発、チーム開発、プレゼンテーションなどの多角的な技術が要求されます。

またプロコン参加者同士の交流会もあり、全国の高専生と技術的な交流やコミュニケーションも活発です。

## 各部門の特色・奈良高専の作成物



### 自由部門

自分の考えた自由なアイデアでシステムを開発する



### 課題部門

与えられた課題を解決するシステムを開発する



### 競技部門

競技的な問題を素早く解決するプログラムを開発する

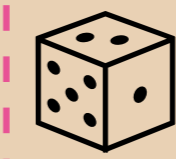
### 2013年

#### iMacra



抱き枕を利用した健康管理システム

脈拍センサ、体温センサ、呼吸センサを内蔵した抱き枕を用います。ユーザが抱き枕を抱いて寝ることで、自身の健康状態を家族や医者やユーザが確認することが出来ます。



#### サイコロ通信

サイコロとカメラを用いて遠隔地に文字を送信します。符号化技術や画像認識技術が重要となった競技でした。

## プログラミングコンテスト本戦までの流れ

4月~5月



企画の考案

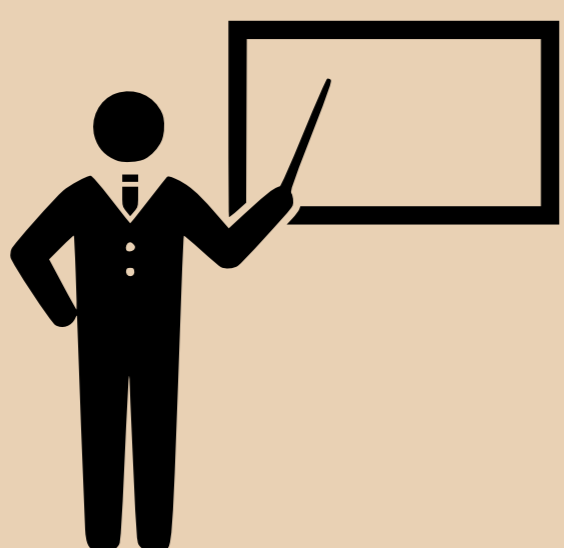
課題部門なら課題を元に開発するシステムのアイデアを考えます。実現手法や既存のシステムとの違いなど詳細な分析が必要です。

7月



応募・書類審査

10月



本戦

8月~9月



デモ準備

システムの開発だけでなく、本戦では2日間に渡ってデモの機会があります。魅力的なシステムと分かる様に効果的なデモ環境を用意する必要があります。

システム制作